

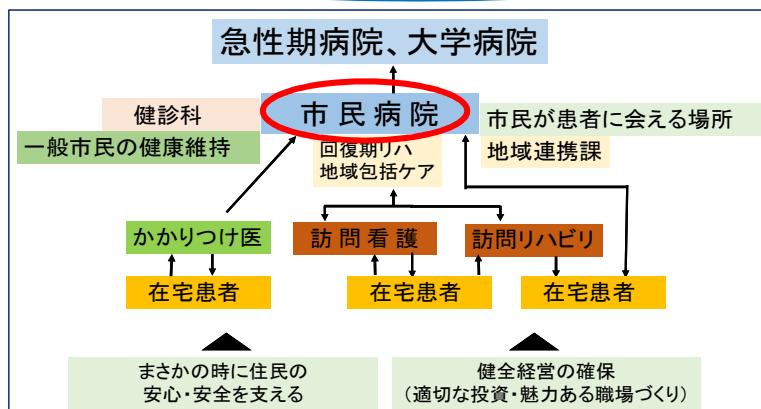
「野洲市民病院整備の新たな方策」

―― 50年先の野洲市を見据えた新たな病院整備の推進――

野 洲 市

こんな病院をめざします

これまでお示ししてきた
「市民に求められる病院機能」を堅持



①中軽度の症状での入院・
通院患者への対応
(二次救急、一般急性期)

②高度な急性期病院と
自宅療養との間を繋ぐ
(回復期医療)

③かかりつけの診療所等
との連携支援
(在宅療養支援)

新たな整備場所：温水プール跡地



新たな整備場所

(p6, p9)

配置イメージ



1, 進入道路 (接道)

市道市三宅・小南線 (6.5m+両側歩道)

2, 上下水道

① 上下水ともに問題なし。

(上100mm、下150mm)

② 敷地内に圧送ポンプの整備を想定



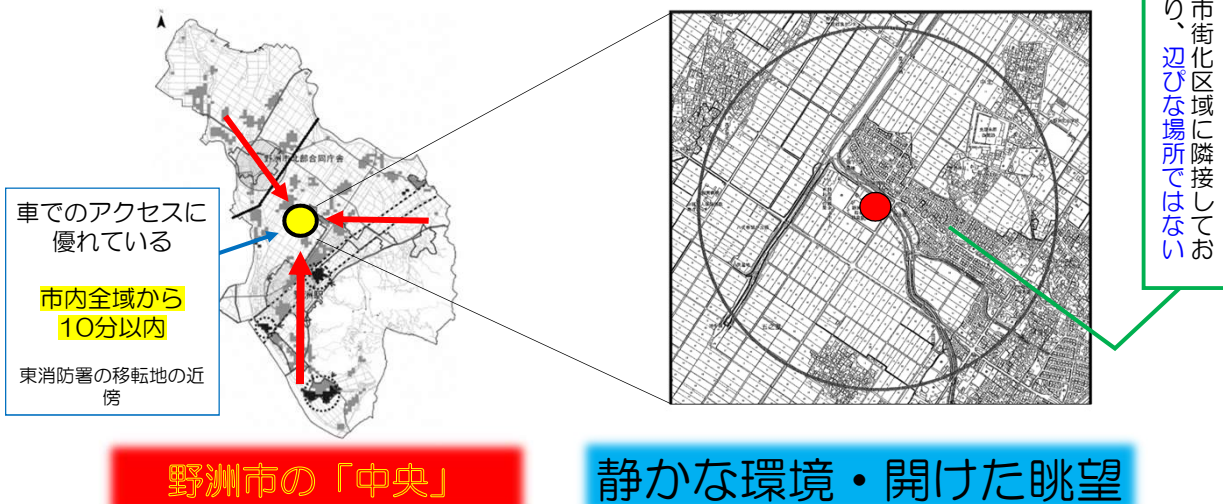
新たな整備場所：温水プール跡地



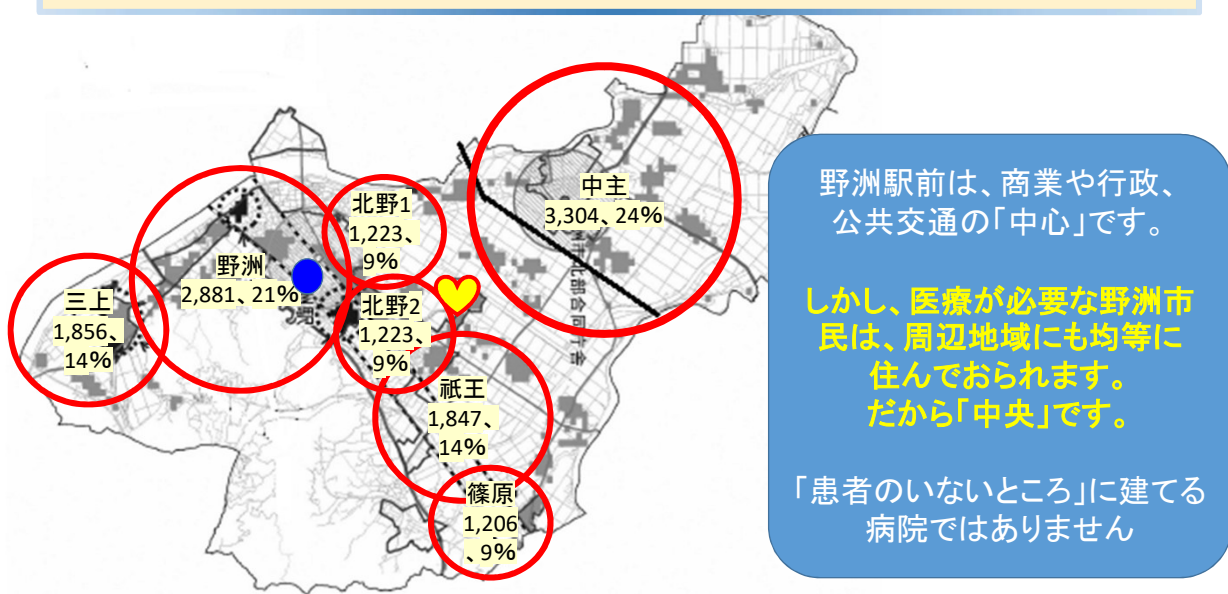
新たな整備場所：温水プール跡地



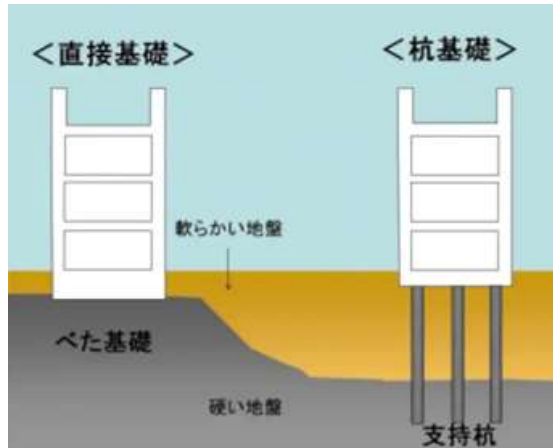
新たな整備場所 (p7~p8)



学区別の高齢者数 — 医療が必要な野洲市民の分布



新たな整備場所 「地盤が弱いので、建てられない??」 (p11)



大きな建物は、硬い地盤を基礎にする必要

「地盤面」が硬い場合は…**べた基礎**

「地盤面」が軟らかい場合は…**くい基礎**

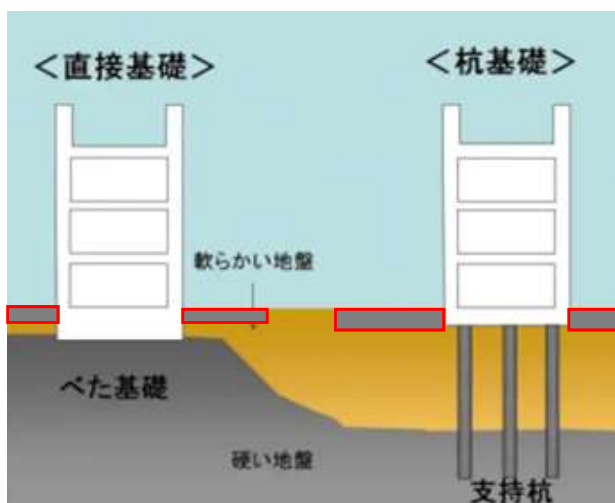
○ 駅前Aブロック病院の設計図より
杭長12m・杭径90～140cm 82本で設計

∴ 駅前も「くい基礎」

● 温水プール跡地の地質柱状図より
深さ13m前に、「N値50」以上の非常に強固な地盤

∴ 「くい基礎」支持杭を打設して建設可能

新たな整備場所 「地盤が弱いので、建てられない??」 (p11)



・地盤改良の工法、深度や範囲は
地質調査後に決定



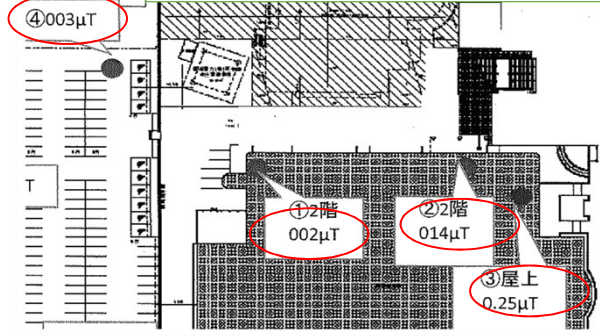
一定の地盤改良工事は、
野洲市内のほとんどの場所で必要

高圧線の影響について

(p 10)

電磁波測定結果 概要

期日 令和3年3月10日 午前10:30～11:20 測定 関西電力送配電機



- 人体への影響はなし。
「国際非電離放射線防護委員会」ガイドライン
磁界ばく露制限値：200μT
- MRIその他医療機器への影響
→電磁波シールド又は磁場キャンセラーの装備により解消可能。



特定医療法人 暁純会 武内病院(三重県。建設中)

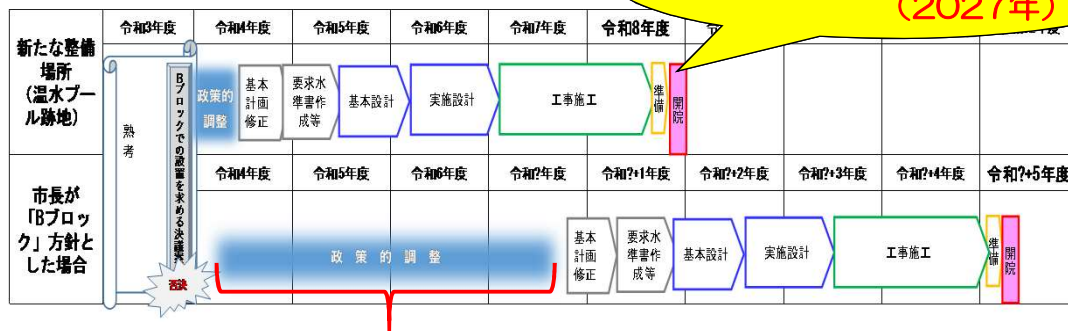


県内の市民病院

新病院の整備工程

(p 16)

• スケジュール



政策的調整に時間のかかる駅前では、病院を「早期」に整備できない

なぜ、これまで「駅前」だったのか？ (p20、p21)

2 新病院整備の可能性

新病院整備の実現について、次の条件が満たされれば可能性
ただし、懸念される課題も存在しますので合わせて明記してお
なお、病院は市民生活に不可欠な施設であることから、条件
が可能かどうか、市で引き続き検討されることを期待

「野洲市新病院整備可能性に関する提言書」
(H24)に明記されて以来、
「駅前」であることが経営成立の条件に。

◎ 主な条件

- 地域の医療需要と病院機能の一致
- 医療スタッフの確保
- 病院経営の透明性と効率性が担保できる運営
- 材料費及び委託料などを統計上の民間病院並
- 野洲駅周辺に病院を立地
- 運営に国の交付税算入相当額と市の一般財
- 地域ぐるみで病院を育てようという機運

◎ 懸念される課題

(4) 立地場所

立地場所は市が主体的に提案すべき事項として整理されています。検討委員会において、市は郊外に立地する場合と野洲駅周辺で立地する場合との課題を整理した上で、野洲駅周辺で立地することを提案されました。

市の提案を検証したところ、「野洲駅周辺とする方が多くの市民が利用しやすく、医療スタッフの確保にも有利である。」ことを検討委員会で確認いたしました。特に、公共交通機関に頼らざるを得ない市民やその家族にとっ

既存の公共交通機関が利用できることや医療スタッフ等を確保する観点から「JRで通勤する医師などを確保する場合に有利です。また、身近な場所に病院があると安心で便利であるという理念にも合致しています。」

なぜ、これまで「駅前」だったのか？ (続き)

「野洲市新病院整備可能性に関する提言書」(H24)
に明記されて以来、

「駅前」であることが経営成立の条件になり、

➤ それ以降は…

「『駅前』であることは、評価委員会の専門家が
科学的・客観的に認めた整備の条件」(前市政)

⇒ 「駅前・直営・整備すること」《3点セット》に…

(「市あり方方針」H25.10)

なぜ、これまで「駅前」だったのか？ (続き)

「『駅前』であることは、評価委員会の専門家が
科学的・客観的に求めた整備の条件だ」(前市政)

そこで、今回当時の会議録を精査した……
結果、元々は、当時の市政が、
「政治的」に整理した方針であることが判明した。

(平成24.2.17 第1回)

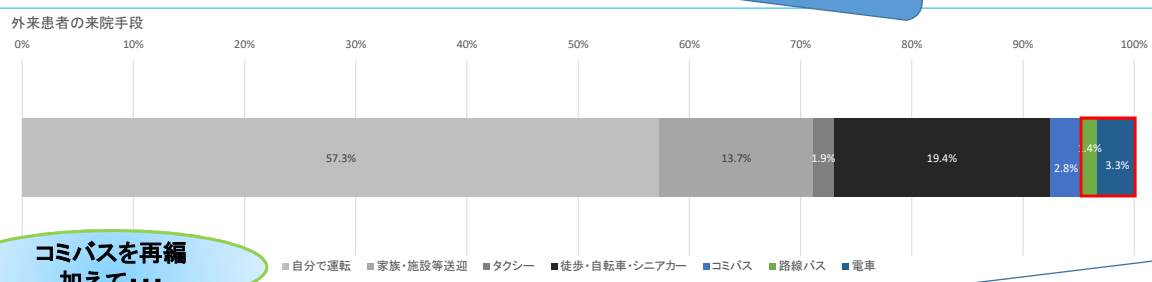
「当時は病院の費用や具体的ものは何もなかった中、
「駅前」が良いか悪いかの投げ掛けに、「良い」としたもの」
(「可能性委員会」当時委員長談)

∴(H24当時)可能性検討委員会は追認した

外来患者の交通手段の検証

そこで、今回
初めて

(p24)



コミバスを再編
加えて…

野洲駅からシャトルバスも運行

《結果》
公共交通利用は、
外来患者の5%未満

駅に近いことが、
経営成立の条件か…?

【参考】黒字経営の「高島市民病院」(立地:湖西線近江高島駅前に立地)

電車7%、バス4%、自動車79%

(高島市民病院『令和3年度 患者満足度調査結果』より)

車に乗れない高齢者等の来院手段は・・・

免許証の返納…
身体機能の低下…

→JR?、路線バス??

- ・介護タクシー
 - ・介護保険の送迎サービス
 - ・ボランティア輸送
 - ・福祉有償交通 など
- の必要性が高まっている。

駐車場、スムーズな道路、
広い車寄せのある病院 が理想

通院の利便性は、駅前計画と同等・及第水準をクリアできる。

駅前よりも多額の整備費用が必要？（p26～p30）

財政負担差が生じる関係項目	負担増 (百万円)
社会資本整備総合交付金の不交付	1,050
用地取得費（病院棟）	▲335
用地取得費（駐車場）	▲403
駐車場整備費	▲278
地盤改良、外構、その他準備工	+113
Bブロック用地（3600㎡）売却による利ザヤ	▲89
関係項目に係る合計	+58

前市政で進められた、駅前に
公共施設を集中させるための
交付金は受けられないが…

市域全体の均衡のとれたま
ちづくりのため

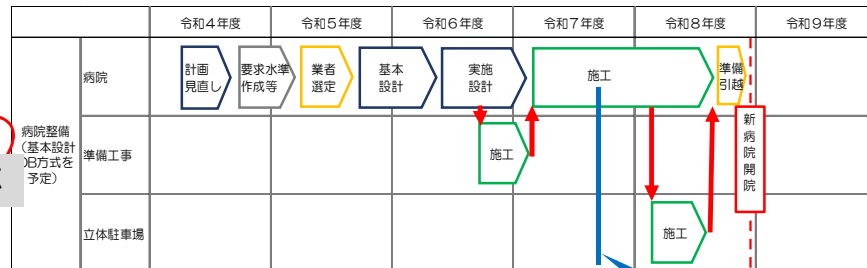
地盤改良工事等は必
要と見込むが、駅前
用地取得費や立体駐
車場の整備など多額
のコストが不要!

※病院整備費は、Bブロックと同等を見込んでいるため、ここでは増減する項目のみで比較している。

国スポ・障スポへの影響は

(p34)

下記3点で対応



1, 病院棟本体用地に整備予定であった国スポ関連の臨時施設の用地を...

駐車場を工夫することや、近隣農地の一時転用等を検討することで対応

2, 開催期間中は...

開催中[10日程度]は工事を止める。仮囲いのデザイン等にも工夫して環境を整える。

3, 体育館裏駐車場合め、駐車場は...

国スポ・障スポ終了後の最終工程で整備するため、工事によっても駐車台数自体は削がない。

国スポ・障スポ

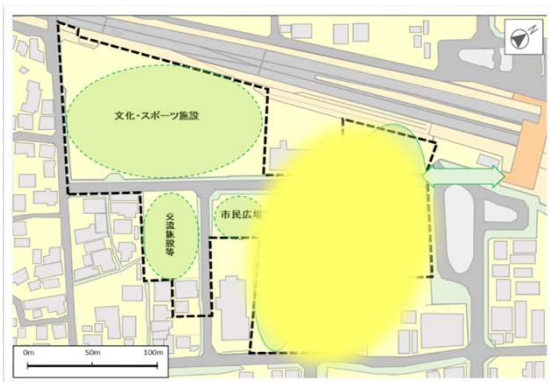
令和7(2025)年

9月中旬～10月中旬

駅前はどうするのか？

(p31)

『心と体の健康をテーマに人と人とがつながることで生まれるにぎわいづくり』



駅前南口の整備と病院の整備を
政策的に分けて検討

これまでよりもスムーズに進捗

A,Cブロックに、Bブロックも加える

「一体的なまちづくり」可能性拡大

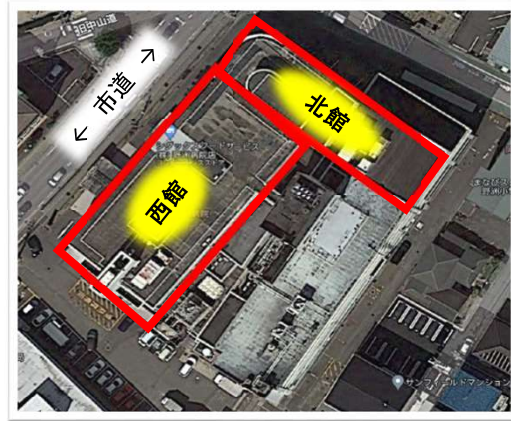
『野洲駅南口整備基本構想』の見直し 10月頃以降に市民とともに検討を進める予定です

現野洲病院跡地の活用

(p32)



市民活動・地域づくり活動、放課後等児童の居場所づくり、高齢者等の相談支援事業等を行う活動の拠点として活用可能。また、野洲小学校等の職員駐車場の確保も可能に。



西館と北館をリノベーション

総合体育館・なかよし交流館との連携 (p33)

①介護予防・健康増進事業充実の可能性

介護予防短期集中C型事業 / 地域リハビリテーション事業

⇒ **市民の健康寿命の延伸に向けた取組の向上**

②災害時の安心拡大の可能性

1) 震災時の指定避難場所(収容人数1,859人で市内最大)

2) 大災害時の中軽傷者の応急処置や待合(トリアージ)スペース

⇒ **市民の安心と災害時の医療機能の向上**

③「医療的ケア児」の支援の可能性

一時預かりや日中活動(居場所)の支援、災害時の支援等のニーズ

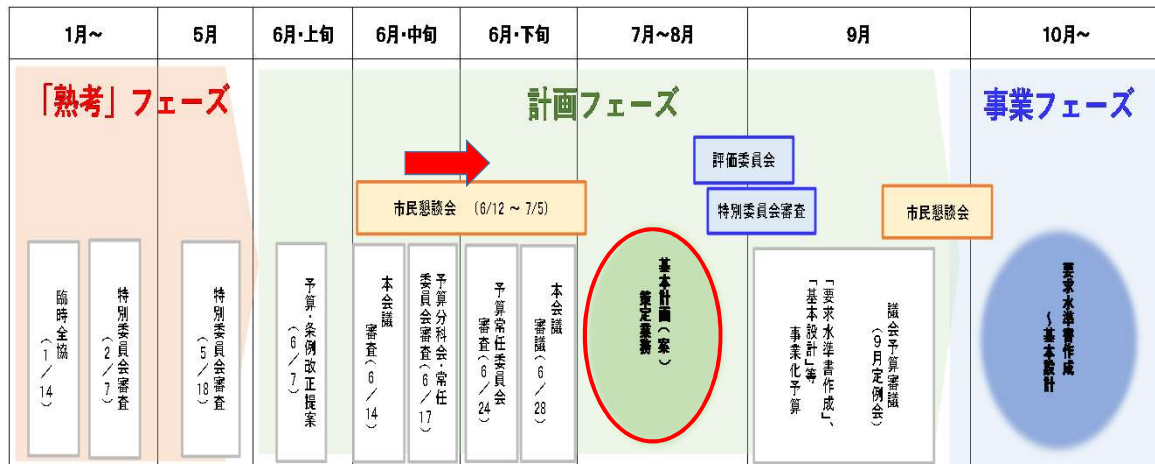
⇒ **なかよし交流館との連携向上**

「医療的ケア児」・・・人口呼吸器による呼吸管理や喀痰吸引等の医療適ケアを日常生活のために恒常的に必要とする児のこと。全国に2万人、滋賀県内に287人、野洲市では9人の児が把握(R1県調査)。



当面の計画推進の予定

(p 35)



ご説明の最後に

(p 38)

- 今回の提案は、市のまちづくりに関わる政策の大きな変革であり、「新病院整備」と「駅前のにぎわいづくり」という大きな二つの課題を、「健康」を基軸としながら、事業としてはすみわけて推進しようとするものです。
- 市民の安心と安全を支える中核的医療の確保を確実なものとし、駅前での賑わいと税収を生み出す可能性を広げ、希望の持てる持続可能なまちを創造することを可能とするものです。
- 今後、市議会での審議や評価委員会の各専門的な知見、様々な考えの市民のご意見を踏まえ、未来に向けて禍根を残すことのないよう、丁寧に合意形成を図っていきます。